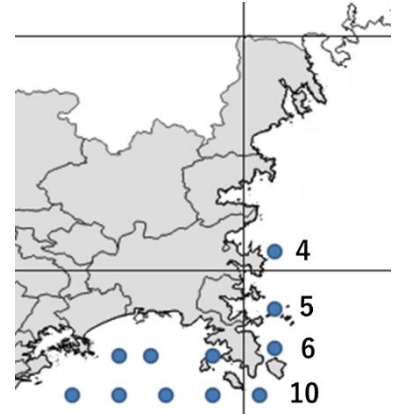


令和2年度 牡鹿半島周辺・以北_貝毒原因プランクトン出現状況 (NO.2)

令和3年3月8日
水産技術総合センター

- 1 調査月日 令和3年3月1日
- 2 調査地点 右図の4定点
- 3 概要 (詳細は下表のとおり)
 - 1) 水温: 表層で7.8~8.3°Cの範囲にありました。
 - 2) 貝毒原因プランクトン出現数
 - ・麻痺性貝毒原因プランクトン (*Alexandrium* spp.) はSt.6で10細胞/L確認されました。



調査結果表(4定点)

St.	日時 水深 (m)	測定層 (m)	透明度 (m)	水温 (°C)	塩分	貝毒プランクトン出現数 (細胞/L)				
						<i>Alexandrium</i> spp.	<i>D. fortii</i>	<i>D.</i> <i>acuminata</i>	他 <i>Dinophysis</i> 属	
						3月1日	3月1日	3月1日	3月1日	備考
4	3月1日 12:03 84	0	8	8.0	-	0	0	0	0	
		10		-	-					
		20		-	-					
		30		-	-					
5	3月1日 12:24 31	0	8	8.1	-	0	0	0	0	
		10		-	-					
		20		-	-					
		29		-	-					
6	3月1日 11:49 66	0	8	7.8	-	10	0	0	0	
		10		-	-					
		20		-	-					
		30		-	-					
10	3月1日 11:04 84	0	7	8.3	-	0	0	0	0	
		10		-	-					
		20		-	-					
		30		-	-					

※貝毒プランクトンサンプルは0~20m層における柱状採水